

2.事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>【ビクトリアス市における消防設備の充実】</p> <p>本事業では、消防車及び消防艇の寄贈に加え、南城市島尻清掃、消防組合の現職消防職員による技術移転が行われることで、ビクトリアス市の消防設備の充実及び消防職員の供与機材の維持管理能力の向上を目指した。</p> <p>本事業では、消防ポンプ車1台、軽消防車1台、救助艇1隻が寄贈されたことによる消防設備の強化、さらに、火災(供与後5月までの出動は3回、うち1回は9件にまたがる大規模火災)による消防車の出動の他、乾季には、旱魃地帯の住民や農作物への給水活動等が行われる等、経済的損失の軽減による地域の経済発展や貧困削減・市民の安全に寄与したことから、上位目標である「ビクトリアス市における消防設備の充実」に貢献した。</p>
(2) 事業内容	<p>本事業は、消防車の供与と技術の共有を目標とし、活動内容は申請時の計画通り実施できた。具体的な内容は以下のとおりである。</p> <p>(ア)消防車の輸送 消防車両の輸送においては、在沖縄フィリピン総領事館や輸送事業者等との国内における手続き業務や各種許可書の取得の他、フィリピン国内での輸入許可申請手続きを同時に進める必要があり、カウンターパートであるビクトリアス市との綿密な連携を図り業務調整を進めた。また、ハンドル切り替え等の整備後、ビクトリアス市の消防職員がスービック港まで出向き自走を行う等、迅速かつ確実な輸送に努めた。</p> <p>(イ)島尻清掃、消防組合の消防局員による技術移転 上記(ア)の輸送手続きにおいて、ビクトリアス市との連携による円滑な輸送手続きに努め、当初予定通り2017年2月15日に寄贈式を開催することができた。式典には、南城市古謝市長、ビクトリアス市パランカ市長及び弊法人理事長安和が参列し、両国の国歌斉唱、消防車の放水デモンストレーション、お清めの儀式等、多くの市民の目前で終始和やかな雰囲気で行われた。また、「これまで、南城市の人々を守ってきた消防車が今後はビクトリアス市民を守る。」というパランカ市長の言葉に、日本側参加者も一同感慨深い様子であり、両市の友好関係のさらなる深化にも貢献した。この式典は、新聞やテレビ関係者等の現地メディアだけでなく、沖縄タイムスにも掲載された(掲載日:2017年3月2日(木))。</p> <p>また、島尻清掃、消防組合の職員による技術講習会では、消防</p>

	<p>車のポンプの操作方法、ホースの巻き方、警報器の使い方、放水の仕方、はしごの使い方や救助艇のエンジン取り付け等、基本的な操作から結び方や降下方法等のロープワークに至るまで、安全第一を最優先とする様々な技術がビクトリアス市の消防職員に伝えられた。また、長期的な実用を目指す観点から、点検箇所や方法についても助言を行い、維持管理と整備においても技術指導を行った。</p>
<p>(3) 達成された成果</p>	<p>成果 1: 消防車両の保有台数が増え、消防体制が強化される。 指標 1: 消防車(普通)1台、消防車(軽自動車):1台、救助艇:1隻が贈与される。</p> <p>本事業により、消防ポンプ車1台、軽消防車1台、救助艇1隻が寄贈されたことで、ビクトリアス市で保有する消防*防災・消防・救助車両数が3台から6台に増加し、消防車の付属品として、ヘルメットや防火服等も提供され、消防設備が強化された。また、島尻組合職員による技術移転講習会では、ビクトリアス市の消防職員(Disaster risk deduction and management Office)が参加し、参加した職員からは「放水やロープワーク等新しい技術を学ぶことができ、今後の業務に活かしたい」という意見が多く、充実した消防体制に向けて前進した。</p> <p>成果 2: 現地の火災発生による経済的損失を削減することで、地域の経済発展と貧困削減に貢献する。 指標 2: ビクトリス市消防局の火災対応の件数が、車両寄贈前と比較し増加する。</p> <p>また、現地到着後から数週間で、3回の出動の他、乾季の時期であったことから旱魃地域の住民やサトウキビ畑への給水活動等が行われる等、迅速な対応が可能となった。救助艇は海難救助に1回出動した。また、4月にビクトリアス市の行ったマリハウ祭り(河川で行われるお祭り)の会場警備にも活用された。市民からの評価も高く、災害による経済的損失の軽減による地域の経済発展や貧困削減・市民の安全にも貢献し、事業目標は概ね達成された。</p> <p>さらに、フィリピンは自然災害の多い国の一つであり、特に台風や洪水による災害リスクが高いことから、洪水時には、救助艇による人命救助や支援物資の配給も検討されている。これは「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標13における「13.1 すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性(レジリエンス)及び適応の能力を強化する」にも相当する事業といえる。</p>
<p>(4) 持続発展性</p>	<p><国家及び市の政策との整合性></p>

災害リスクを軽減し、市民への安心安全なまちづくりは、フィリピン開発計画 2011－2016 年の目標にある「包摂的成長」の重点分野「脆弱性の克服と生活・生産基盤の安定」に位置づけられており、さらに、ビクトリアス市が掲げる施政方針「ASENSO」にも、社会サービスの充実が含まれていることから、本事業で支援された消防車及び消防技術は、引き続き、同市の自助努力によって維持され、持続的経済成長を助長するものと期待できる。

<MOU の締結>

本事業で寄贈された消防車両がビクトリアス市の保守管理のもと長期的に活用されることが、ビクトリアス市、南城市及びレキオウイングスの 3 者による MOU の署名をもって締結された。なお、消防車が到着後、現地消防局による錆び塗装等、丁寧なメンテナンスが行われており、同市パランカ市長の指示のもと、整備体制が築かれていることを確認した。

<消防職員の能力向上>

ビクトリアス市消防局では、予防・活動・回復のサイクルで業務を遂行しており、定期的に人命救助、消化活動、交通事故対応、救急対応、避難訓練、応急処置訓練、水難事故訓練、山間部の防災調査等を行い、職員の人材育成に努めていることから、提供した消防車は引き続きビクトリアス市で活用されることが見込まれる。